

平成27年10月31日

横浜市立一本松小学校

校長 小堀 敏明

## 平成27年度 全国学力・学習状況調査 本校の結果と指導の改善策

4月21日に全国の6年生を対象に実施された全国学力・学習状況調査の本校の結果が届き、結果の分析を行いました。分析したことを指導の改善に生かしていきます。その概要をお知らせします。

これからも子ども一人ひとりが、安心して、豊かに生活できる学校づくりをすすめてまいります。皆様のご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。

### 1 全国と本校の正答率の比較

#### <全国を上回った観点>

算数B（活用）	図形	本校（49.0）	全国（45.6）
理科	科学的な思考・表現	本校（60.8）	全国（60.5）
理科	自然事象についての知識・理解	本校（69.0）	全国（68.6）

#### <全国を下回った観点>

国語A（知識）	書く能力	本校（81.0）	全国（86.0）
国語A（知識）	言語についての知識・理解・技能	本校（72.5）	全国（77.2）
国語B（活用）	話す・聞く能力	本校（46.4）	全国（51.2）
算数A（知識）	数と計算	本校（73.1）	全国（80.1）
算数B（活用）	数と計算	本校（36.9）	全国（42.4）
算数B（活用）	数量関係	本校（35.7）	全国（43.0）
理科	観察・実験の技能	本校（51.0）	全国（55.5）

### 2 全国正答率との比較において顕著だった問題及びその結果を踏まえた指導の改善策

#### <国語科>

○国語A（知識）

全国より上回った問題  
・新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える

全国より下回った問題  
・文を構成する主語と述語との照応関係を捉える  
・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く

○国語B（活用）

全国より上回った問題  
・目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする  
・文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く

全国より下回った問題  
・目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く

#### 国語科指導の改善策

##### 国語「知識に関する問題」Aの結果から

- 主語と述語との照応関係を捉えることができるようにする。
- 漢字を正しく書くことができるようにする。
- 具体的な事例を挙げて説明する文章を書けるようにする。
- 登場人物の相互関係を捉えながら読めるようにする。

##### 国語「活用にに関する問題」Bの結果から

- 目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書けるようにする。
- 目的に応じ、中心となる語や文を捉えながら読めるようにする。
- 目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えて読むことができるようにする。

## <算数科>

### ○算数A（知識）

全国より上回った問題  
・グラフの読み取り ・時刻を求める ・異分母の分数の減法の計算

全国より下回った問題  
・分数÷整数の計算 ・円の性質や二等辺三角形の性質から底角の大きさを求める。

### ○算数B（活用）

全国より上回った問題  
・平行四辺形の作図に用いる図形の性質の理解  
・正三角形の性質や合同な三角形の性質

全国より下回った問題  
・示された割り引き後の値段の求め方  
・四捨五入しておよその数にしての計算

### 算数科指導の改善策

#### 算数「知識に関する問題」Aの結果から

- 基礎的・基本的な計算の技能の確実な定着を図るようにし、当該学年以降の学年においても必要に応じて繰り返し指導し、基礎的・基本的な計算の技能や習熟や維持を図ることを指導する。
- 末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をすることができるようにする。
- 除数が整数である場合の分数の除法の計算をすることができるようにする。
- $180^\circ$  よりも大きい角の大きさについて直角を単位として見積もったり、 $180^\circ$  や $360^\circ$  を基に測ったりすることができるようにする。
- 式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができるようにする。

#### 算数「活用に関する問題」Bの結果から

- 単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求めることができるようにする。
- 四捨五入や概数などおよその大きさを捉えて適切に判断し、能率的な処理の仕方を考え出したりできるようにする。
- 比較する対象を明確にして考察し、説明することができるようにする。

## <理科>

### ○理科

全国より上回った問題  
・生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察しての分析  
・星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察しての分析  
・電磁石と磁石の同極が退け合う性質を振り子が左右に等しく振れる仕組みに適用

全国より下回った問題  
・植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述  
・メスシリンダーの名称の理解  
・方位を判断するために、観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析

### 理科指導の改善策

#### 理科の結果から

- 実験・観察を行う際に、自分なりの予想をしっかりと持たせ、それを基に結果や記録を解釈し、考察するように授業を改善することで思考・表現力の向上を図る。
- 実験・観察に用いる器具の名称やその適切な扱い方の理解を定着させる。
- 予想をしっかりと立て、その結果を見通して実験を構想できるようにする。
- 実験結果を基に自分の考えを改善できるよう、予想に基づいた考察の仕方を指導する。
- グラフを基に考察し、その内容を記述できるようにする。
- 観察した事実と関係付けながら情報を考察して分析できるようにする。
- 既習事項の復習（水が水蒸気になる現象、星座の動きについての観察記録の仕方、メダカの雌雄を見分ける方法）

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査（質問紙調査）結果

質問項目	一本松小	全国
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。		
・2時間以上見たり、聞いたりする。	73, 8%	59, 2%
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(塾や家庭教師など含む。)		
・1時間以上	50, 0%	62, 7%
・全くしない	11, 9%	3, 0%
人の気持ちがわかる人になりたいと思いますか。		
・当てはまる	92, 9%	72, 1%

＜その他全国平均と比べて顕著な状況を示したもの＞

- 「国語の勉強が好き」「算数の勉強が好き」と答えた割合が全国平均と比べ高い。
- 「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ」と答えた割合が全国平均と比べ高い。
- 「原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことが苦にならない」と答えた割合が全国平均と比べ高い。
- 「読書が好きだ」と答えた割合が全国平均と比べて低い。
- 「今住んでいる地域の行事に進んで参加している」と答えた割合が全国平均と比べ低い。

### 4 一本松小学校全体としての改善策

一般的に低学年から中学年までは、体験的な理解や具体物を活用した思考や理解、反復学習などの繰り返しの学習といった工夫による「読み・書き・計算」の能力の育成を重視し、中学年から高学年にかけては、体験と理論の往復による概念や方法の獲得や討論・観察・実験による思考や理解を重視するといった指導上の工夫が有効であることを踏まえ、一本松小学校全体として次の通り指導の改善を図っていきます。

#### 指導の改善策

- はまっ子ドリルの活用方法、朝のスキルタイム進め方等々、基礎的・基本的な知識・技能の定着の視点で点検・見直しを行う。
- 課題を見つけたり、課題に最後まで粘り強く取り組んだりする経験を大切にし、課題解決力を高める。
- 各教科の学習の中でレポートを書いたり新聞形式にまとめたりする学習活動を積極的に取り入れる。
- 学校生活全般において、話し合い、学び合い活動を充実させ、書かれていることを要約して説明したり、考えたことを説明したりする機会を大切にする。
- 互いの立場や意図をはっきりさせて進める討論を学習の中に積極的に取り入れる。
- 学校図書館や昼読タイムを活用した読書指導の充実させる（学校司書との連携、家庭での読書）。
- 休み時間は校庭に出て体を動かすなど、メリハリのある学校生活を送れるようにする。

職員会議で確認したこと

- ・一本松小学校全体としての改善策を読み、全教職員で取り組むこと
- ・学校経営計画の中で「児童の学力向上」を図るための手立てを考えていく。
- ・来年度の「重点研究」を考慮しながら、研究を進めていく。
- ・学校行事「一本まつり」「運動会」「学習発表会」を準備するために、取り組んでいる時間数の精選